

《 目 次 》

●トピックス

- ・【第59回福島県農業賞】ただみ農家の嫁倶楽部が受賞！
- ・あいづ“まるごと”ネット交流会で6次化新商品の意見交換！
- ・南郷トマト販売額10億円達成！
- ・南会津管内でぞくぞくFGAP取得！
- ・「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン
南会津郡産農産物をPR！
- ・「田んぼ」の学校で収穫したお米を楽しく調理しました！
- ・教育旅行の先進地視察研修でおもてなしを学びました！
- ・第66回南会津地方植樹祭in南会津町
- ・良質な南会津産木材の販売会！
- ・地域ぐるみでの鳥獣被害対策の方法について学びました！
- ・水の郷学習会in中朝日で水生生物調査！
- ・食品表示法研修会開催！切り替えまで残りわずかです！
- ・第1回ふくしま植樹祭開催！

●農林事務所からのお知らせ

- ・【注意！】本県も含めた17都県産木材の焼却灰でのあく抜きは行わないでください！

平成30年12月20日発行 福島県南会津農林事務所



トピックス

【第59回福島県農業賞】
ただみ農家の嫁倶楽部が受賞！



上段：左 目黒氏、右 新国氏
下段：左 三瓶代表、右 目黒副代表

9月7日(金)、福島民報社、福島県農業会議、福島県農業協同組合中央会、ラジオ福島及び県主催による「第59回福島県農業賞表彰式」が、杉妻会館(福島市)において開催され、只見町の「ただみ農家の嫁倶楽部」が集団活動部門の「農村女性活動の部」において、農業賞を受賞しました。

同倶楽部は、地元の女性農業者が中心となって組織され、只見町の伝統食・保存食の継承、地域の優良な農産物を利用した新たな商品開発・販売等の活動が認められ、晴れて受賞となりました。

このような地域の明るい女性農業者の活動は、農家の所得向上はもとより、地域産品及び女性農業者の認知度向上、農業のイメージアップなどに繋がり、南会津地域だけでなく県全体としても、農業者の新たなチャレンジへのきっかけとなることが期待されます。

(農業振興普及部)

あいづ“まるごと”ネット交流会で
6次化新商品の意見交換！



参加者と意見交換をする様子

11月28日(水)、道の駅あいづ 湯川・会津坂下(湯川村)において、平成30年度あいづ“まるごと”ネット第2回交流会を開催し、会員、県内量販店の担当者、有識者など50名が参加しました。

今回の交流会は、事業者の6次化新商品に対し、味やパッケージ、価格など様々な点から意見を求め、商品の更なるブラッシュアップを図ることを目的として実施しました。会津・南会津から6事業者が参加し、南会津管内からは只見町の目黒麴店が今年販売開始となった「玄米麴みそ」を出品しました。

今後は、ブラッシュアップした商品のテストマーケティング及び実績報告会を兼ねた第3回交流会を開催予定です。

なお、あいづ“まるごと”ネットでは、随時会員を募集しておりますので、これから6次化を始めたい方や6次化商品の味やパッケージなどでお悩みの方は、ぜひあいづ“まるごと”ネットに会いませんか？

(企画部)

南郷トマト販売額10億円達成！

平成30年度の南郷トマトの販売金額が、10億6千7百万円となり、史上3度目の10億円を突破するとともに、過去最高の販売額を記録しました。

今年度は、新たに4人が就農し、栽培戸数123戸、栽培面積35.57haでスタートしましたが、春先からの病害発生や、7月の記録的な高温により、裂果や尻腐れ果が多発し、生産者にとって栽培管理に大変苦勞した年となりました。

このような厳しい気象条件の中でも、病害への迅速な対応、長年の歴史の中で培われた栽培技術や生産者の努力に加え、関係機関・団体や市場関係者が「チーム南郷」として一体となって尽力した結果、輝かしい成績を残すことができました。

また、今年度は県内初の地理的表示(GI)保護制度の登録となったほか、南郷トマト生産組合として、JGAP認証取得に向けた取組にも着手するなど精力的に活動しています。

当事務所では、さらなるブランド力や生産性の向上、安定生産と農家経営の改善などの支援を行い、産地力の強化を図ってまいります。

(農業振興普及部)

南会津管内でぞくぞくFGAP取得！

会津高原たていわ農産(有)(南会津町)が米で、星果樹園(下郷町)がぶどうで、ふくしま県GAP(FGAP)認証を取得し、10月25日、11月15日それぞれに当事務所の服部所長より認証書が手渡されました。

今年、「里山のつぶ」を皇室行事の「新嘗祭」に献上するという大役も果たされた会津高原たていわ農産(有)代表の星安彦さんから、「今回のGAPの取組を契機として、従業員との情報の共有を図りながら、安全な労働環境の構築、適正な資材管理などを意識し、安定した農場運営ができるよう努めていきたい」との決意が聞かれました。

また、「シャインマスカット」をはじめ様々な品種のぶどうを生産・販売している「星果樹園」の星陽一郎さんは「これを機にインターネットを活用した通信販売を始めてみたい」と意気込みを話してくださいました。



左：会津高原たていわ農産(有) 星代表



中央：星果樹園 星氏

(農業振興普及部)

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン 南会津郡産農産物をPR！

10月20日(土)、道の駅しもごう(下郷町)で「里山のつぶ」「会津地鶏」、りんご(ひめかみ)のPRキャンペーンを実施しました。



うつくしまライシーホワイトと記念撮影する来場者(道の駅しもごう)

当日は天候にも恵まれ、イベントには450名を超える来場者がありました。特にたっぷり蜜が入ったりんごは好評で、試食後に買い求める方も多くいました。

また、11月10日(土)にもヨークベニマル田島店において、「里山のつぶ」と「管内6次化商品」のPRキャンペーンを実施しました。県農産物流通課で実施した「ヨークベニマル福島県産フェア」との併催の効果もあり、試食で提供した「里山のつぶ」を食べた後に、新米を買い求める方もおり、景品として準備した「里山のつぶ」の新米も瞬く間に無くなる大盛況ぶりでした。

当事務所では今年度4回のキャンペーンを実施し、合計で1000名を超える方々に、南会津の美味しさを味わってもらい、PRに努めました。

(企画部)

「田んぼ」の学校で収穫した お米を楽しく調理しました！

11月22日(木)、南会津町伊南小学校5年生11人を対象として「田んぼの学校」収穫祭を開催しました。

今回は、児童たちが田植えし、収穫した米を使って、自ら調理を行い、指導をいただいた「いな夢クラブ」の方々や、町、県の職員に、おにぎりや味噌汁などを振る舞いました。参加者からは「おいしい！」と大好評でした。

児童たちは、自分たちが手塩にかけて作った米のおいしさを実感し、米作りを通じて農業の大変さや農作物を作る楽しみ、農家の皆さんへの感謝がより一層深まったようでした。

(農村整備部)



収穫したお米を使い、調理に取り組む児童

教育旅行の先進地視察研修で おもてなしを学びました！

12月6日(木)～7日(金)にかけて、南会津郡内で教育旅行の農家民泊を営む農家、関係団体、各町、県の合同で、農家民泊受入の質向上を目的とした先進地視察研修が実施されました。



受入お礼の挨拶

研修先の滋賀県近江日野ネットワーク(滋賀県蒲生郡日野町)では、事務局より教育旅行や農家民泊の受入実績などについて説明があった後、実際に受入農家に宿泊し、農家民泊体験を行いました。翌日には、農家と関係機関、行政が一体となった情報交換会を実施し、普段聞くことのできない他地域の先進的な取組などについて情報交換を行うなど交流を深めました。

南会津郡の参加者からは、「町全体で取り組んでいて素晴らしい」、「郡内でも受入農家同士での交流をしたい」などの今後の取組促進に繋がるような意見が多数寄せられました。

(企画部)

第66回南会津地方植樹祭in南会津町



参加者による記念撮影

11月1日(木)、南会津町「岩下数間沢地内」において南会津地方植樹祭が開催されました。当植樹祭は、今年、南相馬市雫地区で開催された「第69回全国植樹祭」の理念を継承することを目的としています。会場には115名の方々が集まり、緑化功労者の表彰や感謝状の贈呈、参加者全員による植樹活動が行われました。植樹活動では、南会津町長や農林事務所長、田島第二小学校・伊南小学校緑の少年団によるオオヤマザクラの記念植樹を行いました。

○緑化功労者の表彰

「館岩地区林業振興協議会女性部」

幼い世代への森林文化の伝承を図るとともに、環境美化や緑化に貢献

○感謝状の贈呈

「株式会社高島屋」

平成13年度から南会津地方緑化推進委員会に対し、南会津工房「き」で製作した木製玩具の売り上げの一部を寄付

(森林林業部)

良質な南会津産木材の販売会！

10月11日(木)～18日(木)にかけて、会津高原だいらスキー場駐車場において「南会津産木材市」を開設し、カラマツ、スギ、ヒノキなど9種類の地元材を販売しました。

出材量は700m³と昨年同時期の市を下回りましたが、カラマツが576m³と全出材量の82%を占め、南会津地方の特色が反映されたものとなりました。

カラマツは前回に引き続き高値で取引され、最高値では1m³あたり15,500円で落札されたほか、広葉樹ではイチイが1m³あたり10万円を超える高値を付けました。

今後は、南会津町が林業成長産業化地域構想で掲げる広葉樹市場とのタイアップも検討し、南会津産の木材が地域や県内外に流通し、幅広く活用されるよう取り組みを進めていきます。

(森林林業部)

地域ぐるみでの鳥獣被害対策の 方法について学びました！

下郷町では有害鳥獣による農作物等の被害面積のうち、約4割がニホンザルによるものであり、近年はイノシシによる被害が拡大しています。



セミナーの様子

11月14日(水)に、下郷ふれあいセンター(下郷町)において、町民を対象としたセミナーを開催し、約80名が参加しました。

特定非営利活動法人おーでらすの今野万里子代表理事、西会津町農林振興課の荻原謙介さんを講師に招き、ニホンザルとイノシシの生態や被害対策、実際の事例を通じた効果的なニホンザルの追い払いの方法について講演をいただきました。

セミナー後、参加者からは、「今後の対策に活かそう、地域全体で対策を実施する必要がある」等の感想が聞かれました。

(農業振興普及部)

水の郷学習会in中朝日で 水生生物調査！

10月11日(木)～12日(金)にかけて、只見町黒谷地区において、土地改良区主催による、朝日小学校の全児童を対象とした「水の郷学習会in中朝日」が開催されました。



講師に指導を受けながら
湿地の生きもの調査を行う児童

このイベントは、地区のほ場整備事業において環境配慮の一環で造成した湿地に住む水生生物の観察を通じ、農業農村の多面的機能について理解を深めることを目的としています。

アクアマリンふくしまから春本講師を迎え、初日は湿地内に生息する生き物の捕獲調査を、2日目は捕獲した生き物の観察を行いました。児童たちは、カエルを始めドジョウ、タニシ、ゲンゴロウ等、普段あまりじっくり触れ合うことのない生き物に興味津々で、大きさを測ったり、直に触れたり、講師に積極的に質問するなど、身近にいる生き物の多様性についての理解を深めました。

(農村整備部)

食品表示法研修会開催！ 切り替えまで残りわずかです！

12月3日(月)、御蔵入交流館(南会津町)において、平成30年度食品表示法研修会を開催し、加工業者など12名が参加しました。

研修会では、事業者が食品を販売するに当たって必要な表示事項を確認したほか、制度化目前のHACCP(食品の衛生管理手法)の概要やGAPの取組について説明しました。

食品表示法は平成27年4月に施行され、経過措置の残る加工食品も、あと1年余り(2020年3月末まで)の間に主要な表示を整える必要があります。切り替えを後回しにせず、包装資材やラベルシールの補充のタイミングなど、機会を捉えて表示内容の見直しを早めに進めましょう！食品表示に関するご相談は南会津農林事務所及び南会津保健福祉事務所で連携してお受けしています。

なおHACCPの導入推進に関することは、南会津保健福祉事務所でご案内しています。

(企画部)

第1回ふくしま植樹祭開催！

「ふくしま植樹祭」は、本年6月10日に南相馬市で開催した「第69回全国植樹祭」の開催理念を引継



ステージトーク

ぎ、ふるさと再生への思いを込めた植樹活動を行い、未来へつなぐ希望の森林づくりを加速させることを目的としています。

ふくしま植樹祭実行委員会と南相馬市鎮魂復興市民植樹祭実行委員会の共同開催、歌舞伎役者の市川海老蔵さんが全国で展開している「ABMORI」の副題を付けて、以下のとおり開催しました。

参加者は、広葉樹とクロマツをそれぞれの植樹会場で植栽後、昼食をはさみ、木工体験などの交流イベントに参加して秋の一日を楽しみました。

- 日時 平成30年11月4日(日) 10:00～14:00
- 場所 南相馬市鹿島区北海老地内
- 参加者数 3,000名
- 主催挨拶 福島県知事、南相馬市長
- ステージトーク 福島県知事、市川海老蔵、日本みどりの女神(野中、竹川)
- 交流イベント 木工、薪割り、丸太切りなど

(森林林業部)

農林事務所からのお知らせ

【注意！】本県も含めた17都県産木材の 焼却灰でのあく抜きは行わないでください！

11月8日(木)、県が実施した食品の放射性物質検査において、「とち餅」から食品衛生法の基準値(100Bq/kg)を超える130Bq/kgの放射性セシウムが検出されました。

原材料の栃の実やもち米は放射性物質検査済で基準値を下回っていたことから、栃の実のあく抜きに使用した薪の焼却灰から放射性物質が移行した可能性が高いとみられています。

「栃の実」「わらび」等の加工にあたって、下記17都県から採取された薪等の焼却灰は絶対に使用しないでください。

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県 (国による利用自粛自治体)

(企画部)

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。